

令和7年度(前期日程)
入学者選抜学力検査問題

国語

(現代の国語・言語文化・論理国語・文学国語・古典探究)

試験時間

1. 文学部, 教育学部, 法学部は 120 分

問 題 ページ

㊦～㊨…………… 1～11

2. 医学部(保健学科看護学専攻)は 60 分

問 題 ページ

㊦～㊩…………… 1～7

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで, この冊子を開いてはいけません。
 2. 各解答紙の2箇所に受験番号を必ず記入しなさい。
なお, 解答紙には, 必要事項以外は記入してはいけません。
 3. 解答は, 必ず解答紙の指定された場所に記入しなさい。
 4. 試験開始後, この冊子又は解答紙に落丁・乱丁及び印刷の不鮮明な箇所などがあれば, 手を挙げて監督者に知らせなさい。
 5. この冊子の白紙と余白部分は, 適宜下書きに使用してもかまいません。
 6. この冊子をとめている針金は, 解答時に取りはずしてもかまいません。
 7. 試験終了後, 解答紙は持ち帰ってはいけません。
 8. 試験終了後, この冊子は持ち帰りなさい。
- ※この冊子の中に解答紙が挟み込んであります。

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

(注) 前に述べた……問題文の前の部分で、筆者は同様の内容を述べている。
吾人………自称。私、我々の意味。

問一 傍線部㊦から㊧の片仮名を漢字に直せ。

問二 本文中の空欄には動物の名前が入り、「どここの の骨ともつかぬ者」という、素性のはつきりしない者を表す慣用表現となる。空欄に入る漢字一字を答えよ。

問三 傍線部①「名のもとに」と表現した筆者の意図を簡潔に説明せよ。

問四 傍線部②「都合のいい解釈」とはどういうことか。文脈に即して具体的な内容を示した上で、わかりやすく説明せよ。

問五 傍線部③「権利について悩もうとしない者」とは、考古学的発掘について言えばどのような者のことか、説明せよ。

二

次の文章は、ある小説の一部である。小説中の「私」は、若くして亡くなった治子^{はるこ}の家を訪れている。読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

(川端康成「たまゆら」による)

(注) 曲玉……………縄文時代から弥生時代・古墳時代にかけての装飾用の玉。勾玉。まがたま

八尺瓊曲玉……………三種の神器の一つ。天照大神が岩戸隠れをしたとき、神々が立てた

真榊まぎにつけて飾ったとされる曲玉。八尺瓊勾玉。

瀬田……………治子の生前の交際相手であった男性。

「たまゆらに…」…………『万葉集』巻第十一・二三九一。柿本人麻呂の歌とされる。「昨日の夕方に逢ったばかりなのに、今朝にはもう恋しくなってよいものだろうか」の意。

「たまゆらの…」…………『新古今和歌集』巻第八・七八八。藤原定家の歌。「ほんのしばらくの間の露も私の涙も、とどまらず乱れこぼれる、亡き人を恋い慕う宿に吹く秋風で」の意。

問六 傍線部について、「私」は、なぜそう考えるのか。治子にとっての「たまゆら」の内容を示した上で、わかりやすく説明せよ。

問七 空欄

A

・

B

 に入る語として、最も適切なものをそれぞれ選び、記号で答えよ。

A

--

 ア 奇妙 イ 微妙 ウ 即妙 エ 珍妙

B

--

 カ 無心 キ 無用 ク 無情 ケ 無学

問八 文中で語られる「たまゆら」とは、「私」にとって、どのような意味を持つものと考えられるか。「私」の治子への思いを踏まえて、わかりやすく説明せよ。

次の文章は、初心者が優れた和歌を詠めるようになるための心得について説いたものである。読んで、後の問に答えよ。

初心の時は、何としても上手のその道を得て、自由自在に言葉にあらはさねども、その心を底にふくませて、[※]艶にはかりがたく詠める体がうらやましくて、かなはぬことをよりすぢり案じて、^①達者と等しからむ事を求む。これ、第一のひが事なり。[※]ただ歌のあがらぬのみならず、次第にさがりもて行くなり。ただ世の常にあるやうに、ことば正しく、心一筋目ありて、大やうらかに詠みもてゆけば、年月を重ねて、[※]垢落ちぬれば、自然に昔の人にも立ち並び、また心ふかく艶なる歌もおのづから出で来るなり。

初心の時に、おもしろき歌詠まむとたしなむこと、たとへば、昔、唐国の中に宋といふ国に、愚かなる田夫ありて、夏の日、わが田の苗の短きことを歎きて、骨を折りて一々に抜きあげて、とく長くなさむとして、苗の枯るるを知らざりしが^②ごとし。

この理、[※]諸道にわたりて多し。大宮の内府、[※]妙音院入道相国に琵琶を習ひけるに、ある時、相国[※]禪門示されけるは、「御分の琵琶、日ごろよりわろく聞こゆるは、いかやうに稽古するにか」と問はれければ、内府答へていはく、「別したる事侍らず。ただ御琵琶のあまりに殊勝におぼゆるほどに、何としてか、かやうに軽く弾き侍らむとたしなみ侍る」といひければ、「さてはこの故なり。^③かまへて師のまねすべからず」と示されけるも、この道理なり。

(『耕雲口伝』による)

(注) 艶……………和歌の美的理念の一つで、優雅な美しさをいう。

よりすぢり……………あれこれとひねって。

ひが事……………間違っていること。

垢……………欠点。

田夫……………農夫。

大宮の内府……………平安時代後期の公卿、藤原宗能(一〇八五—一一七〇)。

妙音院入道相国……………平安時代後期の公卿、藤原師長(一一三八—一一九二)。琵琶の名手として知られる。

禪門……………在家のまま剃髪して仏門に入った男性のことをいう。

御分……………あなた。男性が目上または同等の相手に対して用いる二人称代名詞。

問九 二重傍線部「し」と文法的に同じ意味をもつものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 御かたちもいとあてにをかしげにものしたまふ。

イ 我と等しき人しなければ、わが心になふ事まれなり。

ウ 我、世にありし時は、娘どもをば女御后とこそ思ひしか。

エ その不動尊は、今に無動寺におはします等身の像にてぞましましける。

問十 傍線部①③を現代語訳せよ。

問十一 傍線部②について、宋の田夫の話は、初心者が和歌を練習する際に間違えやすいことを

例えたものだが、それはどのようなことか。わかりやすく説明せよ。

問十二 筆者は、初心者が優れた和歌を詠めるようになるためには、どのようなことが大切だと述べているか。本文全体を踏まえて、わかりやすく説明せよ。

四

次の文章を読んで、後の問に答えよ。ただし、返り点と送り仮名を一部省略してある。

堯^{げう}欲^ス伝^{ヘント}天下^ヲ於^シ舜^ニ。𪛗^{しゅん}諫^{いさ}曰^{メテ}、「不^{ナル}祥^{ハク}哉^①。孰^カ以^テ殺^ス天下^ヲ而^{ヘン}伝^ニ之^ヲ於^ニ匹夫^ニ乎^ト。」堯^カ不^レ聽^カ、拳^{ゲテ}兵^ヲ而^ス誅^ス殺^ス𪛗^ヲ於^ニ羽山^ニ之^ニ郊^ニ。共^{メテ}工^{ハク}又^{メテ}諫^{ハク}曰^{メテ}、「孰^カ以^テ天下^ヲ而^{ヘン}伝^ニ之^ヲ於^ニ匹夫^ニ乎^ト。」堯^カ不^レ聽^カ、又^{メテ}拳^{ゲテ}兵^ヲ而^ス流^ス共^ヲ工^ヲ於^ニ幽州^ニ之^ニ都^ニ。於^{イテ}是^ニ天下^ニ莫^シ敢^{ヘテ}言^フ無^{カレト}伝^{フル}天下^ヲ於^ニ舜^ニ。

※ 仲尼^{キテ}聞^レ之^ヲ曰^{ハク}、「堯^ル之^ハ知^ル舜^ノ之^ハ賢^{ナル}、非^{ザル}其^ノ難^キ者^ニ也^ニ。」

① 夫^ニ至^ル乎^ニ誅^ス諫^ス者^ニ必^ニ伝^ス之^ヲ舜^ニ、乃^チ其^ノ難^キ也^ト。」一^ニ曰^{ハク}、

② 「不^ル以^テ其^ノ所^ヲ疑^フ敗^{ヤぶ}其^ノ所^ヲ察^{スル}則^チ難^キ也^ト。」

〔韓非子〕による

〔注〕 堯・舜……それぞれ中国古代の天子の名。理想的天子の代表格として「堯舜」と並び称される。

伝……譲り渡す。

𪛗・共工……それぞれ堯の家臣の名。

匹夫……身分の低い男性。庶民。

聽……ききいれる。ゆるす。

仲尼……孔子のあざな。

疑……疑義をさしはさむ。

敗……破棄する。

察……見抜く。

問十三 傍線部①②の読み仮名を平仮名で記せ。

問十四 傍線部①を書き下し文にすると、「夫の諫むる者を誅して必ず之を舜に伝ふるに至りては」となるが、これにしたがって原文に返り点を施せ。なお、送り仮名は付けなくてよい。

問十五 傍線部②について、

(1) 本文の内容に当てはめると、「疑」と「察」の動作主は誰になるか。該当する人物を次の中からそれぞれ一人選び、記号で答えよ。

ア 堯 イ 舜 ウ 鯀 エ 仲尼

(2) 本文全体を踏まえて、どういうことかわかりやすく説明せよ。